

カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： （一社）中部産業連盟

A.生産管理	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
生産・開発計画	

コースのねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自分の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	ものづくりの仕事の流れ	(1) 製造業を取り巻く環境	1.5
			・産業革命から現在に至るまでの変遷 ・100年に一度と言われる変革期 外部環境変化に対応できなければ企業は存続できない。変化のスピードが加速度的に早まる現在、我々は何をすべきかを考察する【ワーク】	
			(2) 企業の役割	
			・企業の役割 「社会の公器」である企業の役割を認識する ・ものづくり企業の仕事の流れと部門の役割 ・原価と利益の関係 売価は市場原理によって決まるため、企業は原価(三要素)を下げることで利益を生み出すことを理解する	
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1) 製造業における優先順位【】	2.0
			・ESMQCDとその優先順位 製造業で管理すべきE(環境)S(安全)M(モラル/モラール)Q(品質)C(コスト)D(納期)とその優先順位を理解する	
			(2) ものづくり現場の基礎は5S	2.5
			・成果の上がる5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰) 5Sは製造業にとどまらずあらゆる仕事の基礎である。 ここでは5Sの目的・狙いを知り、成果のあがる5Sの進め方を学ぶ	
	3	ものづくりに関する業務改善	(3) 無駄とはなにか	
・トヨタ7つの無駄 ・ムダ(カタカナの無駄)とむだ(ひらがなの無駄) 無駄発見のしかたと無駄どりの進め方を理解する				
(1) 動作経済の原則を体験する				
・ピンボード演習【演習】 ピンボード教材を用い動作経済の原則の有効性を学ぶ。 ここでは距離の遠近、片手作業と両手作業、判断の有無、分業と一気完結でどのような差が生じるかを体験する				
(2) 改善活動				
・ボールペン組立演習【演習】 ボールペンの組立を、レイアウト、作業方法、治具などを工夫し、安全かつ速く生産できる方法をグループ毎に考え実施する。 これにより改善の重要性和効果を肌で理解する				
		(3) 改善活動の進め方		
		・すぐやるべき改善と計画的に行う改善 ・巧遅拙速(こうちせっそく)を尊ぶ		
		(4) 改善マインド		
・改善力は「手法」*「マインド」 ・まとめとグループ討議【ワーク】				
			合計時間	6.0